

【体育・小6・保健分野「病気の予防」】①

育成を目指す資質・能力

(知識及び技能) 病気は、病原体、体の抵抗力、生活行動、環境などが関わりあって起こることを理解すること。

(思考力、判断力、表現力等) 病気の予防や回復に関する課題について、学習したことを活用して解決の方法を考えたり、選んだりすること。

(学びに向かう力、人間性等) 病気の予防について、課題解決に向けて話し合ったり、調べたり、自分の生活を振り返ったりするなどの学習に進んで取り組むこと

ICT活用のポイント

○前時の内容について振り返る ○自身の考えをまとめ、グループで共有する。

【つかむ】

前時の学習を振り返り、
本時のめあてをつかむ。

【追究する】

習得した知識を活用し、自己の
取組について考える。

交流を通して、これからの予防法
について考える。

【まとめる】

本時のめあてに対するまとめを確
認し、学習内容を振り返る。

事例の概要

○ミライシードを活用し、前時までの学習内容をクイズ形式で振り返る。
○Yチャートを用いて、自身の生活における病気の予防法を分類する。

【事例におけるICT活用の場面①】

○【つかむ】の場面では、ミライシードの機能を活用したクイズ形式の振り返りを行った。
○意欲的にクイズに取り組んだ後は、前時の板書を映し出ししながら習得した内容の再確認をした。

【事例におけるICT活用の場面②】

○JamボードのYチャートを活用し、生徒自身が日ごろ生活の中で行っていると考えられる病気の予防法を分類をする。
○個人の予防法と分類について、ICT端末の画面を見ながらグループで発表、意見交流を行う。

【体育・小6・保健分野（病気の予防）】②

【事例におけるICT活用の場面①】



【事例におけるICT活用の場面①】

【つかむ】の場面で、ミライシードの機能を活用し、クイズ形式の振り返りを行った。本時で活用する習得した知識について、意欲的に回答する児童の姿が見られた。また、クイズ形式で楽しむだけでなく、その後は、前時の板書記録を映し出しながら、ポイントを再度確認しながら振り返りを行った。

以上のことから、前時の習得した知識について、全児童が短時間で効果的に確認ができた。

【事例におけるICT活用の場面②】



【活用したソフトや機能】
プレゼンテーションソフト
学習支援ソフト

【事例におけるICT活用の場面②】

・【追究する】の場面で、習得した知識をもとに、自己の生活について振り返り、自身が実践している病気の予防法を視点をもとにYチャートに分類した。

・交流の場面では、グループの考えの交流を通して【共有化・効率化】、様々な見方や考え方に触れることができた。そのうえで、自身の生活を振り返って、実現可能かつ、継続可能な予防法について、考え、まとめた。